



高知工科大学 経済・マネジメント学群

# RとRStudio の インストールと初期設定

macOS編  
(2026年版)

やない ゆう き  
矢内 勇生

 <https://yukiyanai.github.io>

 [yanai.yuki@kochi-tech.ac.jp](mailto:yanai.yuki@kochi-tech.ac.jp)



# この資料はmacOS用です

- macOS Tahoe (Version 26.2) の使用を想定しています
  - ▶ 旧バージョンの macOS でも基本的な手順は同じです
  - ▶ Windows を使っている方は「Windows編」を参照してください

# 資料に関する注意

- インストール画面のスクリーンショットについて
  - ▶ 私は「ダークモード」を使用しているため、スクショが全体的に黒っぽくなっています。ダークモードでない場合には白っぽい表示になると思われます。
  - ▶ 私の Mac は English を最優先言語にしているため、表示されるメニューが英語になっています。日本語設定では日本語で表示される部分もあるかもしれませんが。
- アプリ・ソフトウェアのバージョンについて
  - ▶ アプリ・ソフトのバージョンアップにより、資料に登場するものとは異なるバージョン番号のものをインストールする必要があるかもしれません。番号は適宜読み替えてください。
- この資料は53ページありますが、最後まで頑張りましょう！（Windows 編は106ページあるので、その半分しかない！）

はじめに

インストールの前にやって  
ほしいこと

# Finderの設定

- ファイル名拡張子 (filename extension) を表示する

▶ 拡張子とは: <https://www.mouse-jp.co.jp/mouselabo/entry/2024/04/17/100064>

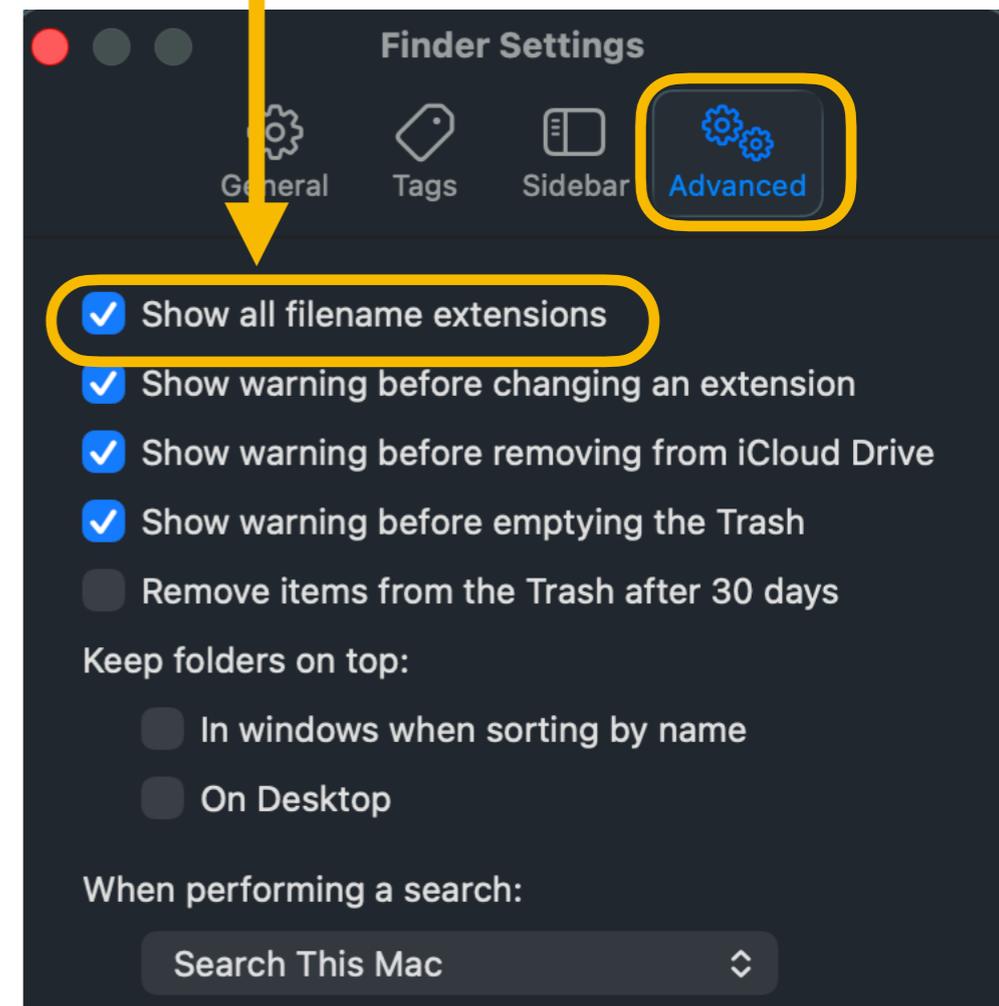
1. Finder を開き、メニューバー(画面上部)で、「Finder」->「環境設定 (Settings)」を選択

2. 「詳細 (Advanced)」を選択

3. 「すべてのファイル名拡張子を表示 (Show all filename extensions)」にチェックを付ける

▶ 詳しくは: <https://support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/mchlp2304/mac>

これにチェックを付ける



# インストールの手順と注意

# インストールの手順

- 以下の手順でインストールを進める

1. Xcode をインストールする
2. Command Line Tools をインストールする
3. XQuartz をインストールする
4. R 本体をインストールする
5. RStudio をインストールする

- **すべて無料**

- ▶ 支払いを要求されたら、インストールするものが間違っているということ

- このうち2と3はRの使い方によっては必須ではないが、統計学1, 2, 計量経済学を受講する場合は全部入れる

# 注意

- インストールには、パソコンの**管理者権限が必要**：自宅のパソコンを使っていて、自分以外がパスワードを管理している場合は、パスワードの管理者にインストールしてもらってください
- **順番どおり**に実行すること
- **安定したインターネット接続**が必要
- **時間がかかる！**
  - ▶ 授業の直前や課題の締め切り間際にインストールしようとしても間に合わない
  - ▶ ネットの接続速度によっては、1時間以上かかる
  - ▶ ダウンロード中は、本を読んだり(授業の予習とか)、昼寝でもして待ちましょう：待ち時間に動画を見たりすると、ダウンロードにさらに時間がかかるのでやめましょう

# インストールがうまくいかないとき

- この資料を読み直し、自分がやったことが手順から逸脱していないか確認する
- 手順通りに実行してもうまくいかない場合は、質問する
  - ▶ 質問の際は、
    - 本当に「指示された通り」にやったか、もう1度(だけでなく2度、3度)確認する
    - どの段階で失敗したかを明確に:この資料のどのページで失敗したか
    - 失敗(エラー)の内容を明確に:エラー画面全体のスクリーンショットをとる
  - ◆ スクリーンショットの撮り方: <https://support.apple.com/ja-jp/HT201361>

# それでもうまくいかないとき

- インストールは一旦諦め、[Posit Cloud](#) の無料版 (free plan) を使う
  - ▶ ただし、Positi Cloud だと
    - 使用中は常にネット接続が必要: ネットの接続速度によっては反応が鈍い
    - 図の日本語が文字化けする: 図をファイルに保存すれば解決
- どうしても自分のMacBookにインストールしたいなら、MacBook持参でオフィスアワーに来てください: オフィスアワー以外の訪問は事前にアポをとってください

# インストール 1

Xcode

# Xcode のインストール

- Xcode は、App Store からダウンロードしてインストールする
- App Store で「Xcode」を検索し、インストールする
  - ▶ Apple ID とパスワードが必要
  - ▶ App Store ユーザガイド: <https://support.apple.com/ja-jp/guide/app-store/fir9b2ea074e/3.0/mac/26>
- ★ Xcodeのダウンロードには時間がかかる: 気長に待ちましょう

インストール 2

Command Line Tools

# Command Line Tools のインストール (1)

- インストールしたXcode を起動する
- メニューバー(パソコン画面上部)で: “Xcode” → “Open Developer Tool” → “More Developer Tools...” を選ぶ
- ブラウザが起動し、Apple Developer へのサインインを求められるので、サインインする
  - ▶ Apple ID とパスワードが必要
- 自分のXcode のバージョン(次のページを参照) に合った Command Line Tools を選ぶ

# Xcode のバージョンの確認方法

- Xcode を起動したときに表示される画面でバージョンを確認できる
- ▶ 右の画面の場合は、Version 26.3(黄色で囲んだ部分)



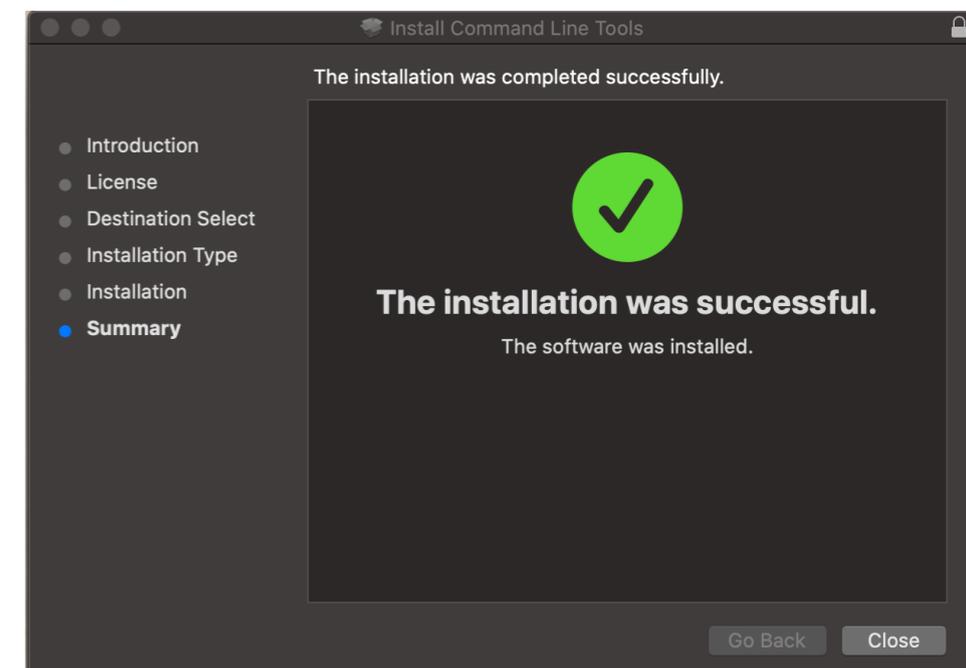
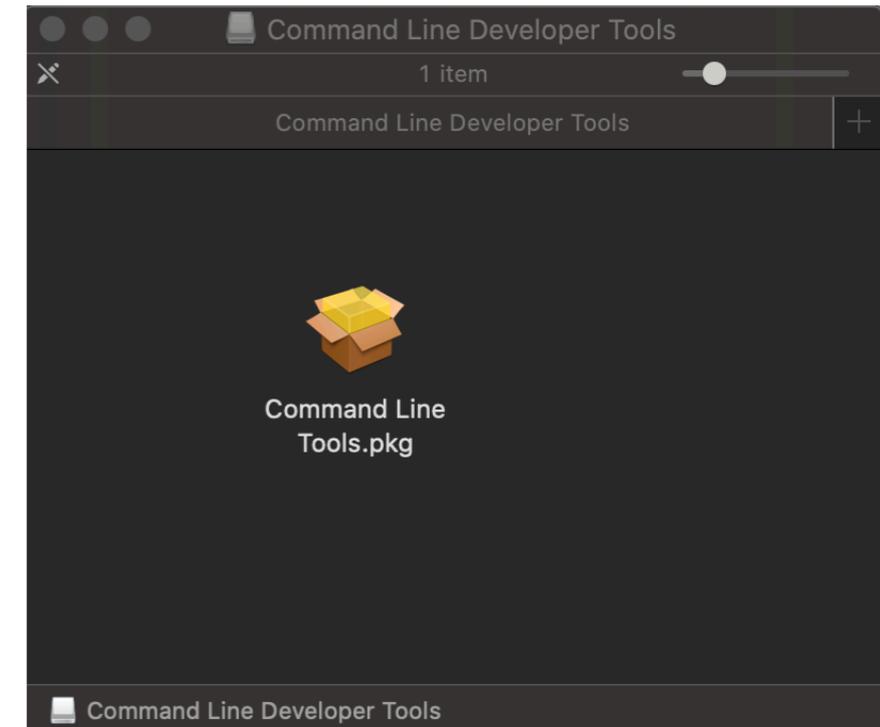
# Command Line Tools のインストール (2)

Xcode のバージョンが26.3の場合

- Toos and resouces -> Xcode の下にある Learn more をクリックする
- 上部の Xcode の段の右の方にある Resouces をクリックする
- Additional tools の “View downloads” をクリックする
- Command Line Tools for Xcode 26.3 の “View Details” をクリックする
- 選んだToolsの詳細が開くので、開いた画面に表示される Command Line Tools for Xcode 26.3.dmg をクリックしてダウンロードする
- ダウンロードしたファイルを開くと、Command Line Tools.pkg があるので、それをダブルクリックした後、表示される指示に従ってインストールする

# Command Line Tools のインストール (3)

- Finder に Command Line Tools.pkg が表示される(右の図)のでクリック(ダブルクリック)する
- あとは表示される指示に従って進む
  - ▶ 途中、パソコンの管理者パスワードを尋ねられるので、入力する
- 最終的に、右の図が表示されればOK。  
[閉じる (Close)] をクリックしてインストール完了

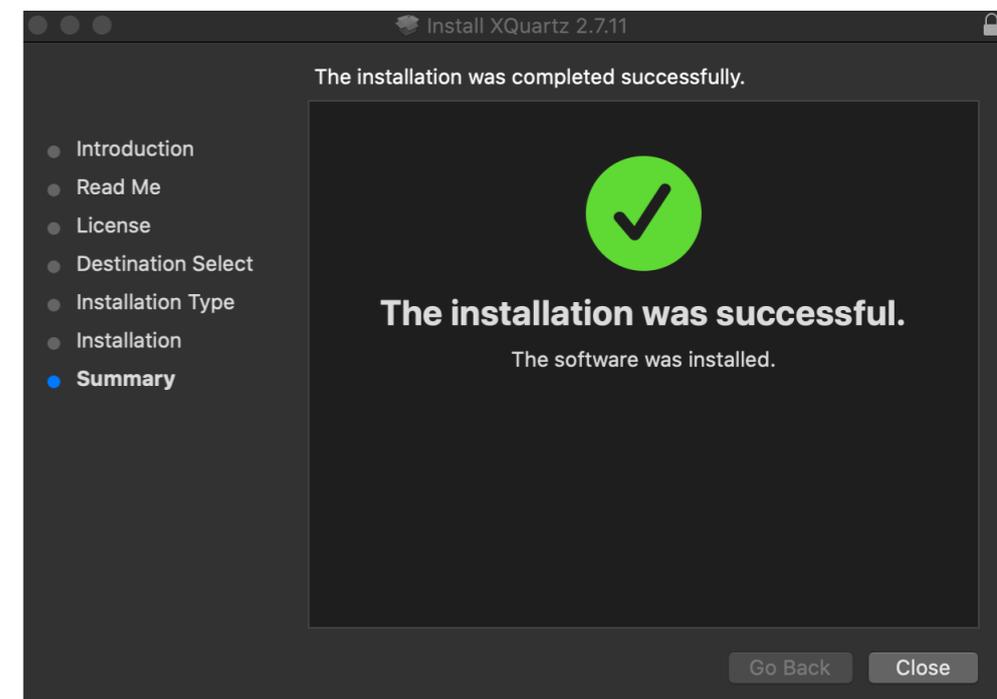


# インストール 3

XQuartz

# XQuartz のインストール (1)

- インターネットブラウザ (Safari, Chrome, Firefox など) で、<https://www.xquartz.org/> を開く
- XQuartz-2.8.5.pkg をクリックしてダウンロードする
  - ▶ バージョンアップされた場合、数字は違うかも
- ダウンロードしたファイルをダブルクリックする
- あとは表示される指示に従って進む
  - ▶ 途中、パソコンの管理者パスワードを尋ねられるので、入力する
- 最終的に、右の図が表示されればOK。[閉じる (Close)] をクリックする



# XQuartz のインストール (2)

- インストール自体は完了しているが、XQuartzが使えるようにするためにはパソコンの再起動が必要
- 次のステップに進む前に、パソコンを再起動する

# インストール 4

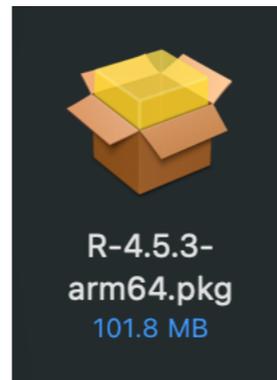


# Rのインストール (1)

- インターネットブラウザで、<https://cran.r-project.org> を開く
- [Download R for macOS](#) をクリック
- R-4.5.3-arm64.pkg をクリック
  - ▶ 4.5.3はバージョン番号:この資料の作成時点(2026-03-18)での最新版が 4.5.3
  - ▶ バージョン番号は適宜読み替えること
  - ▶ 注意: Intel Macユーザは R-4.5.3-x86\_64.pkg をクリックする!

# Rのインストール (2)

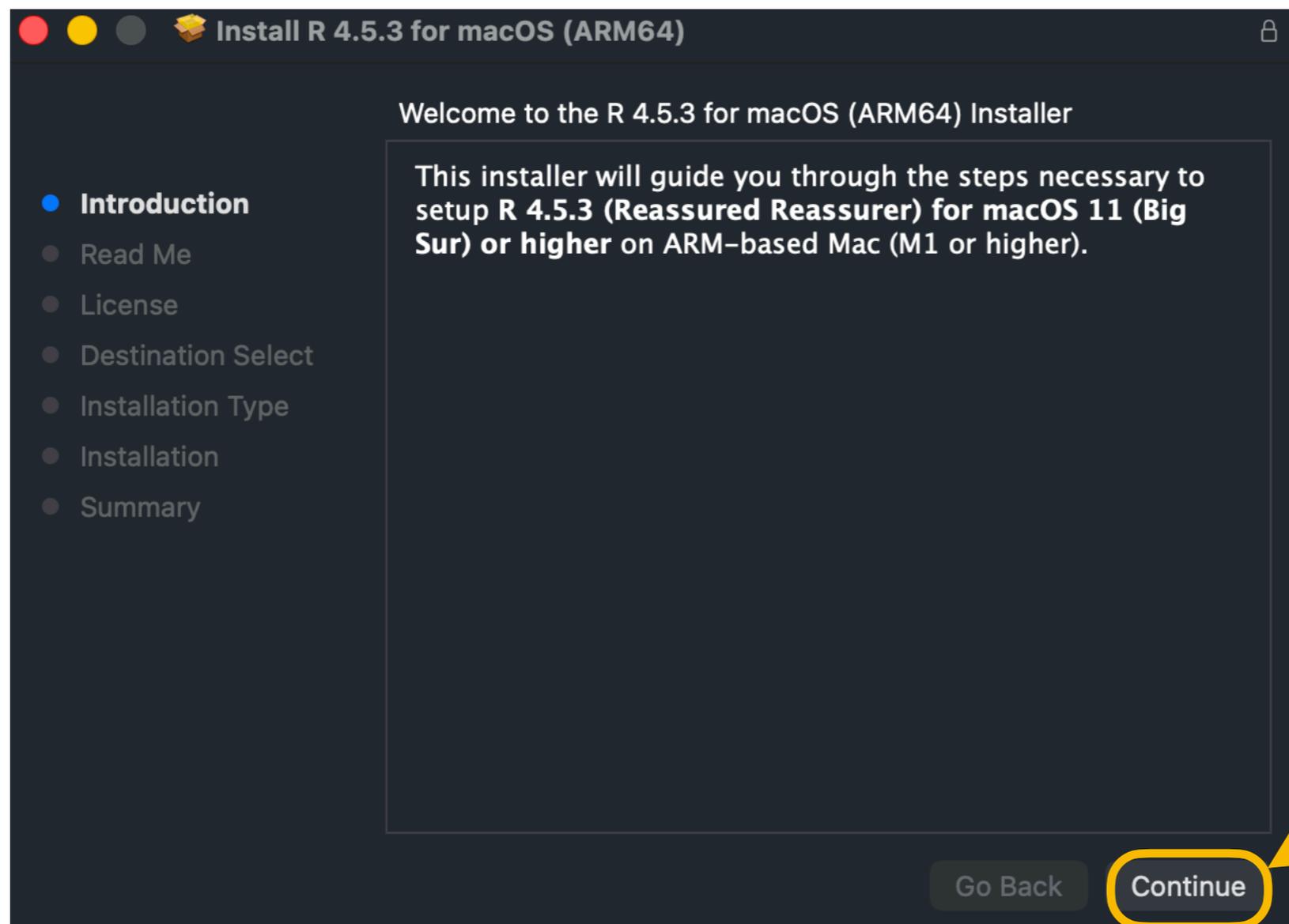
- ダウンロードされた .pkg ファイルをダブルクリックして実行する



ダブルクリックする

# Rのインストール (3)

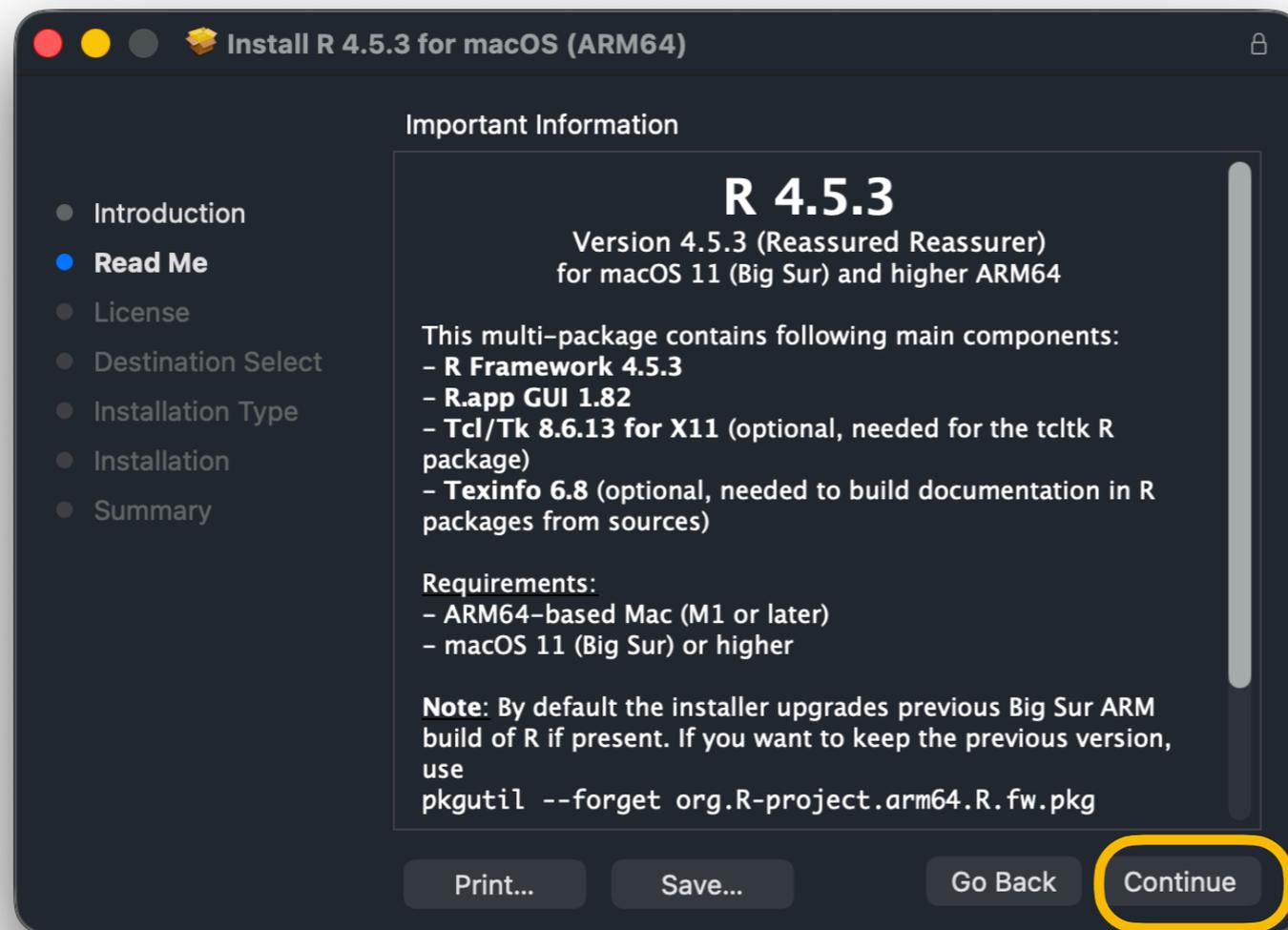
- 下の図のような画面が表示されるので、[Continue(続ける)]をクリックする



クリック

# Rのインストール (4)

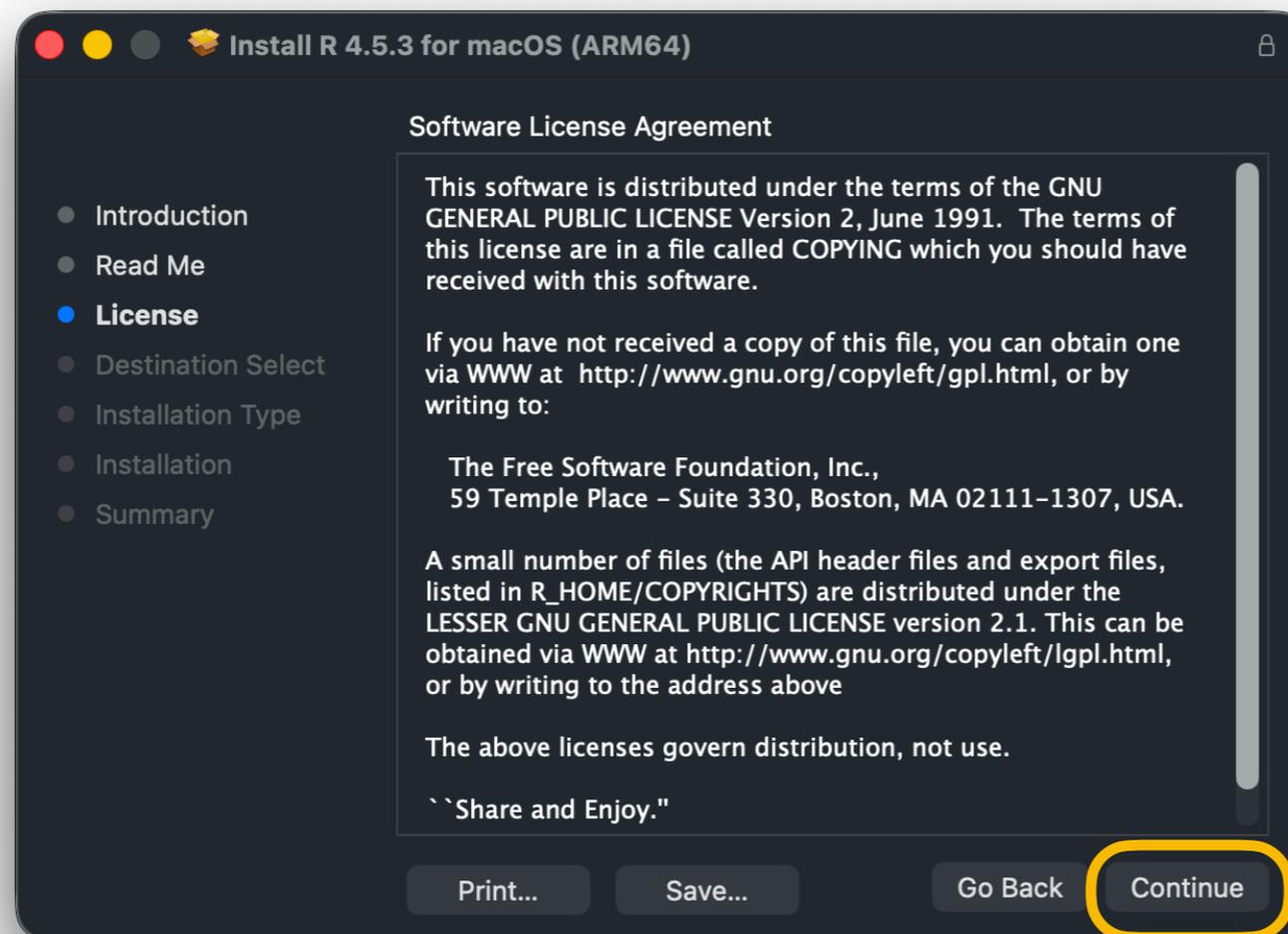
- 下の図のような画面が表示されるので、内容をよく読んでから[Continue]をクリックする
  - ▶ 必要なら[Print] で印刷するか、[Save] で表示された内容をファイルに保存しても良い



クリック

# Rのインストール (5)

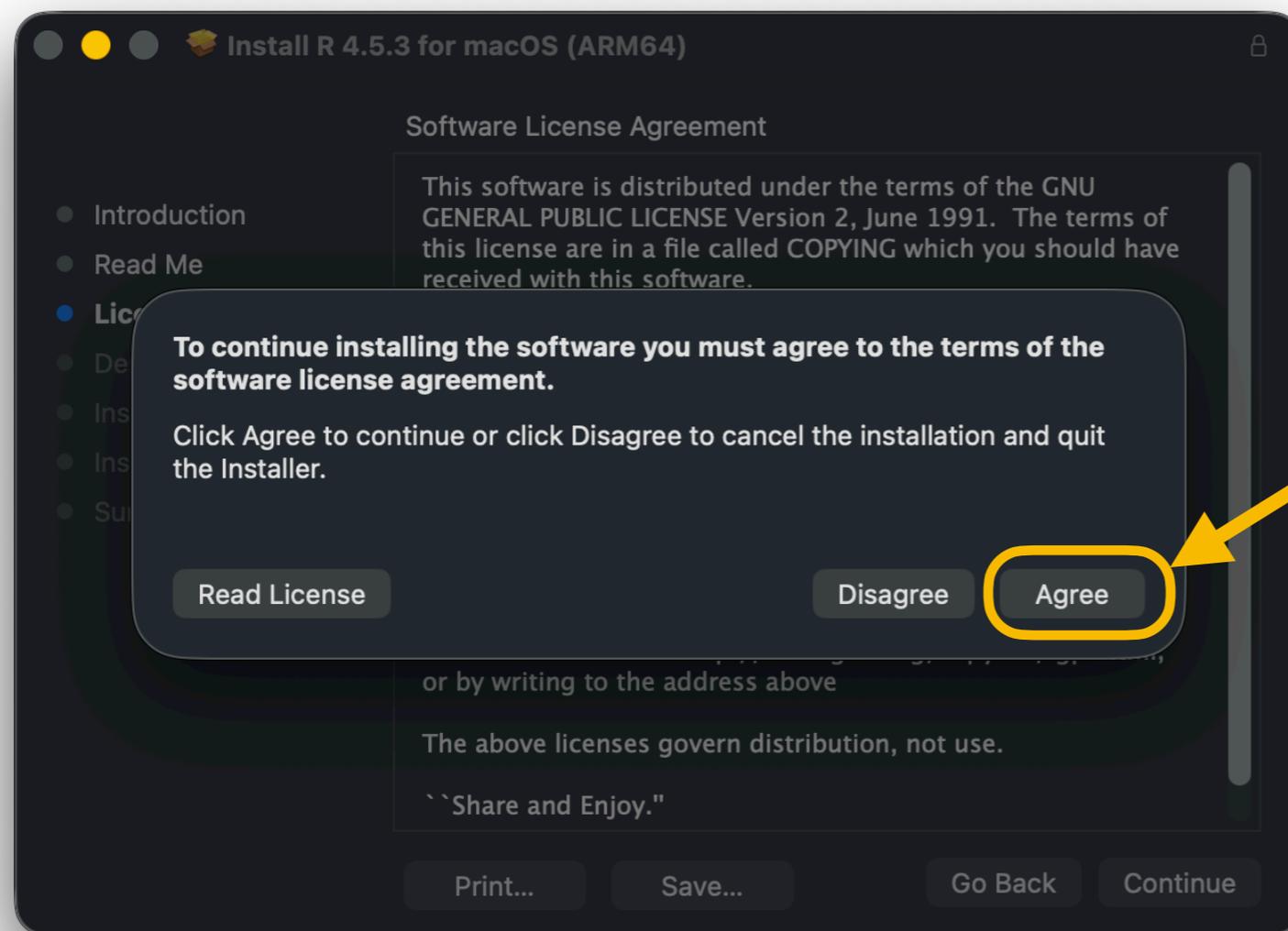
- 下の図のような画面が表示されるので、内容をよく読んでから[Continue]をクリックする
  - ▶ 必要なら[Print] で印刷するか、[Save] で表示された内容をファイルに保存しても良い



クリック

# Rのインストール (6)

- 下の図のような画面が表示されるので、[Read License] をクリックしてライセンスの内容をよく読み、同意できる場合のみ [Agree(同意する)] をクリックする
  - ▶ [Disagree(同意しない)] を選ぶとインストールできない

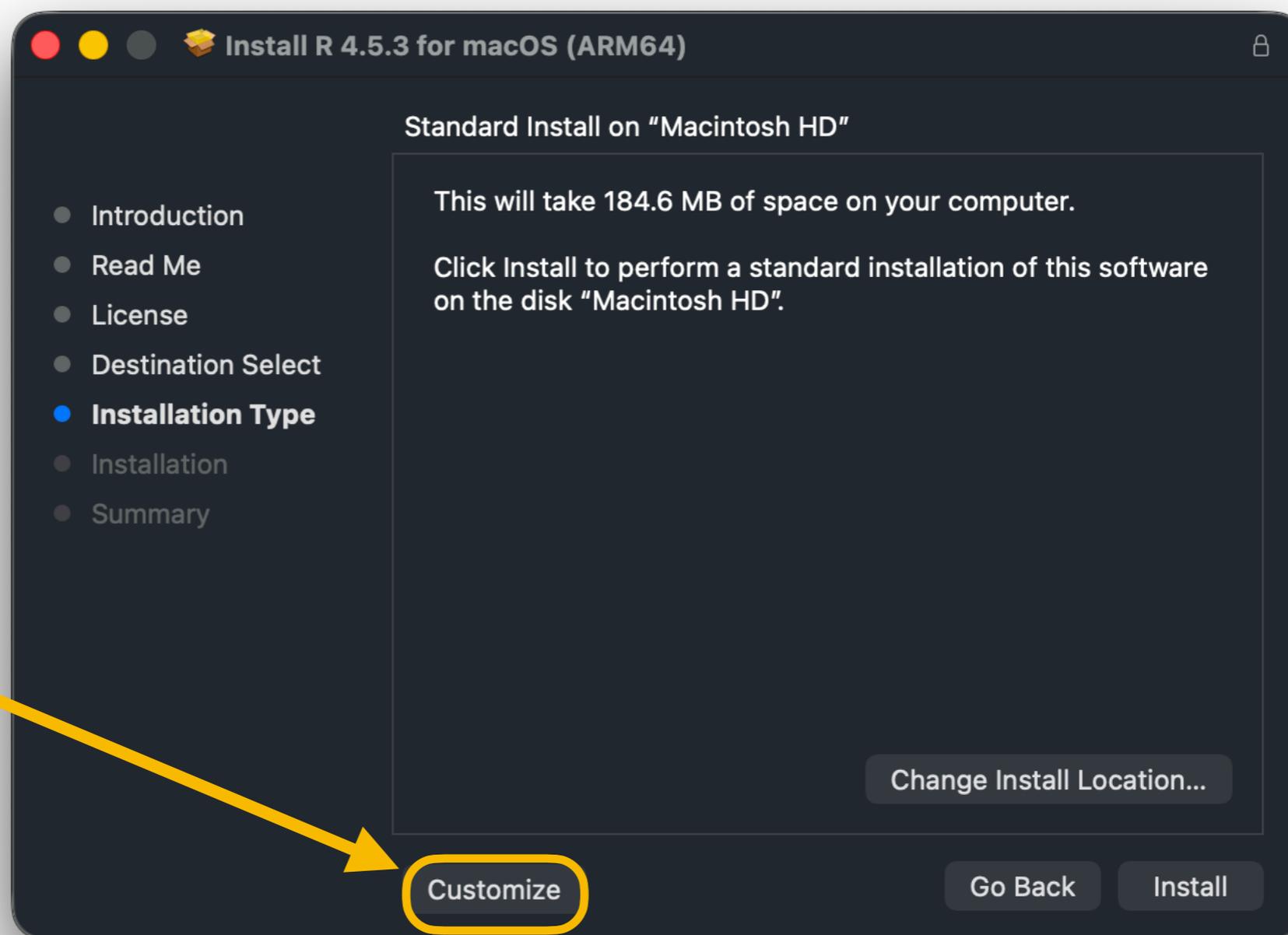


クリック

# Rのインストール (7)

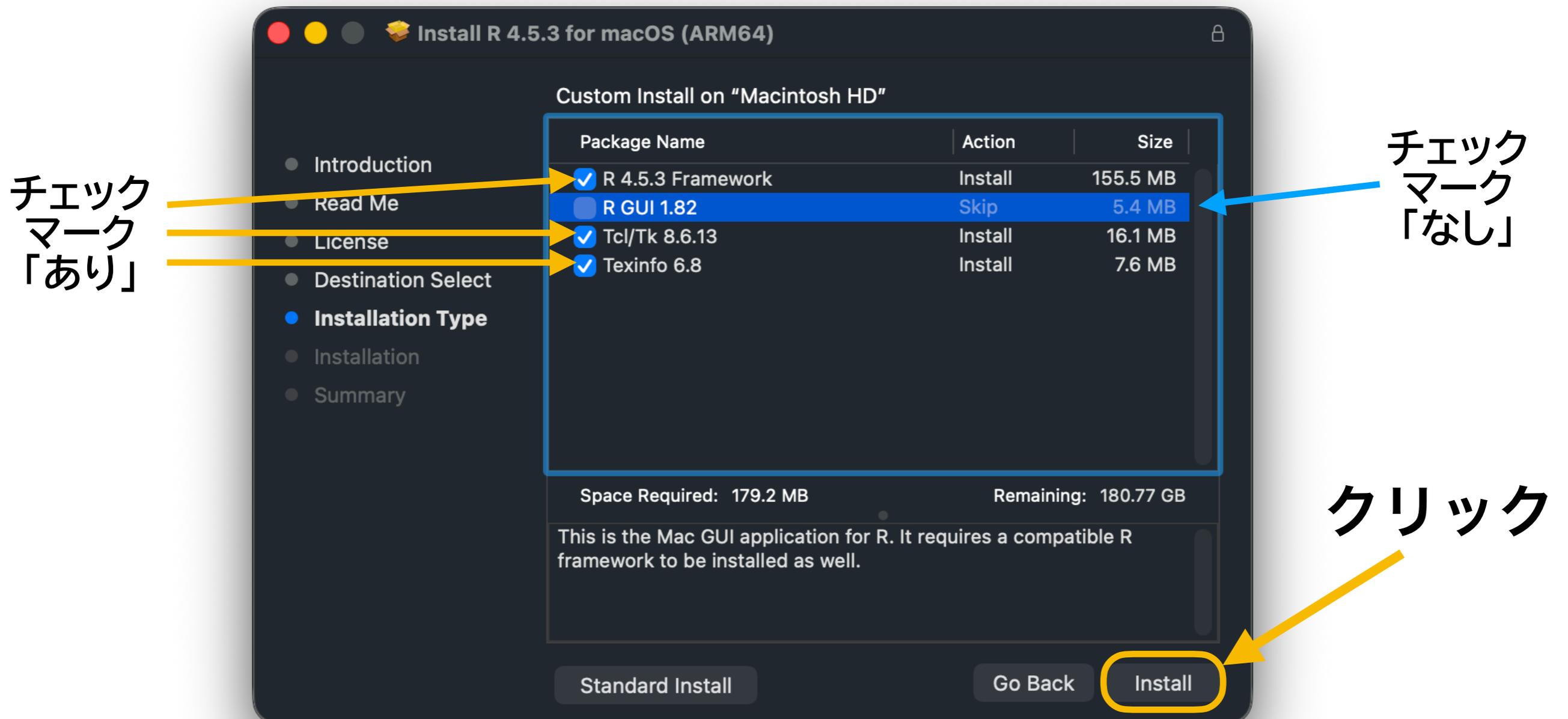
- 下の図のような画面が表示されるので、[Customize] をクリックする

クリック



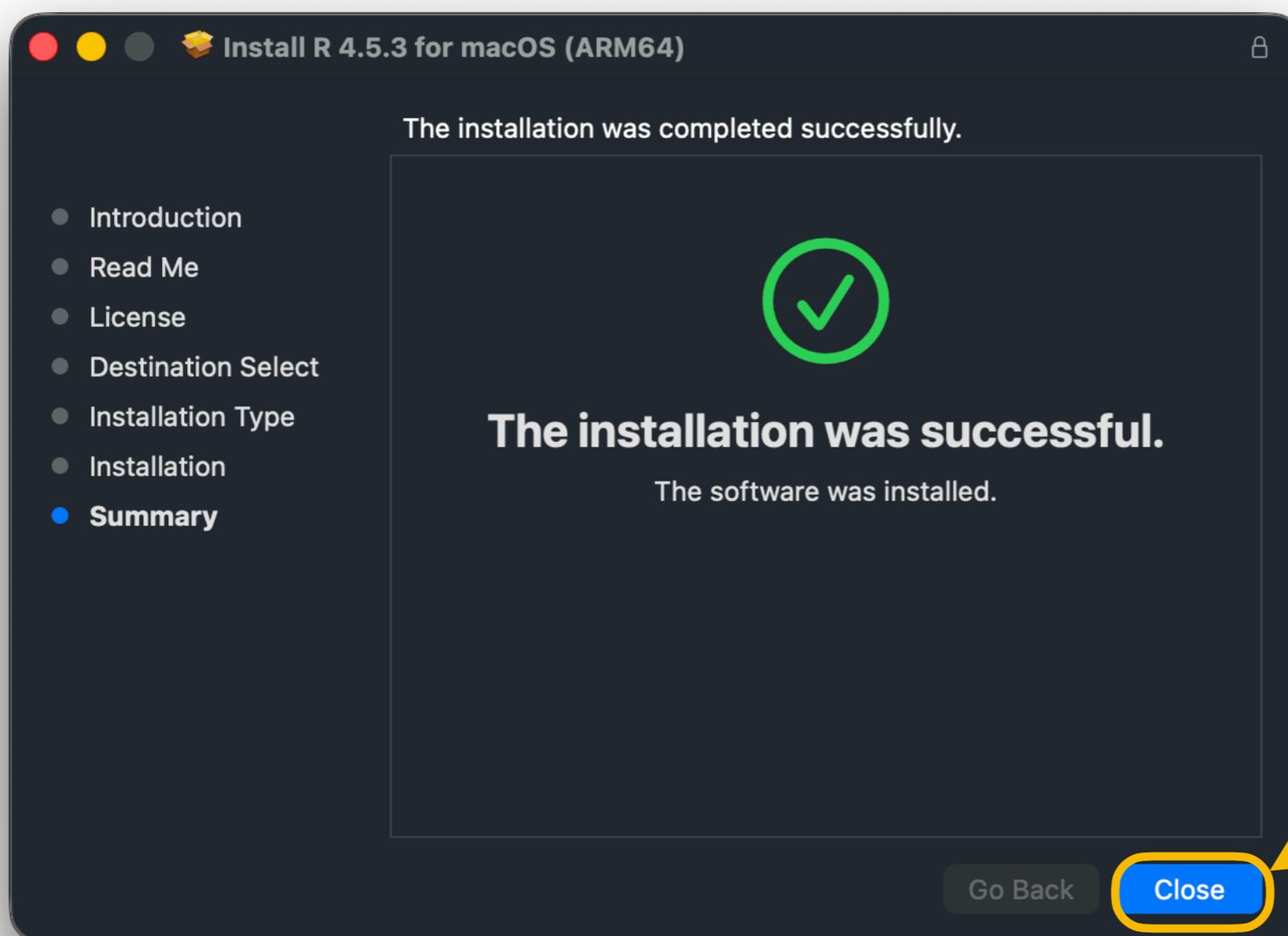
# Rのインストール (8)

- 下の図のような画面が表示されるので、”R GUI 1.82” のチェックを外し、それ以外にチェックが付いていることを確認して [Install] をクリック (全部チェックありでも問題はない)
  - ▶ 管理者パスワードを尋ねられるので、入力する



# Rのインストール (9)

- 下の図のような画面が表示されればインストール成功。  
[Close] をクリックして完了



クリック

# インストール 5

RStudio

# インストールの前に: RStudioとは

- RStudio は、Rを便利に使うための統合開発環境 (integrated development environment: IDE)
  - ▶ RStudio: <https://posit.co/downloads>
- RStudio がなくても、R自体は使える
  - ▶ 授業でRを使う際は、常にRStudio を使う: 他の使い方は教えない
    - 他の教員の授業では PositronやVS Code を使うかも
- RStudioは、R本体がないと使えない(起動しない)
  - ▶ **R本体のインストールを完了した後に**、RStudio のインストールを始めること

# RStudio のインストール (1)

- インターネットブラウザで、<https://posit.co/downloads> を開く
- DOWNLOAD RSTUDIO をクリックする
- 開いた画面を下にスクロールして、RSTUDIO-2026.01.1-403.DMG をクリックしてダウンロードする
  - ▶ “2026.01.1-403” はバージョン番号なので、バージョンアップ後は数字が変わる

## RStudio Desktop

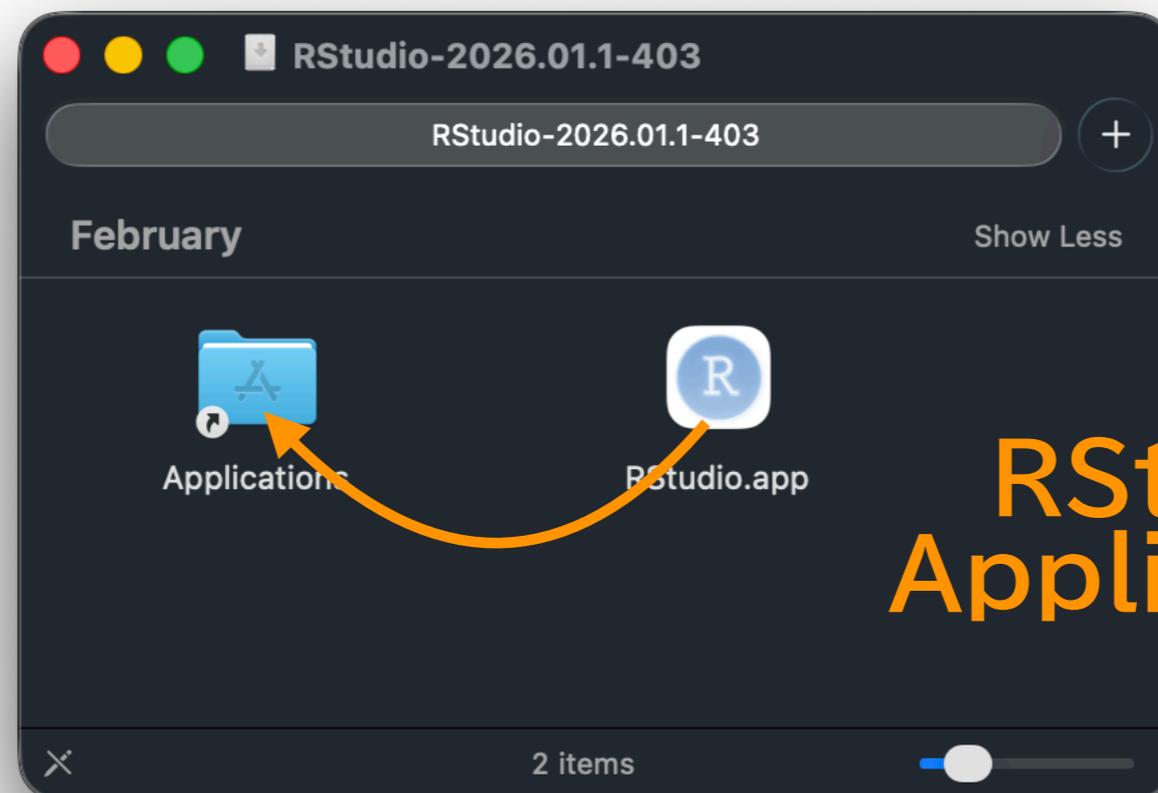
Find out more about RStudio Desktop and RStudio Desktop Pro below.

DOWNLOAD RSTUDIO

OS	Download
Windows 10/11	<a href="#">RSTUDIO-2026.01.1-403.EXE ↓</a>
macOS 14/15/26	<a href="#">RSTUDIO-2026.01.1-403.DMG ↓</a>

# RStudio のインストール (2)

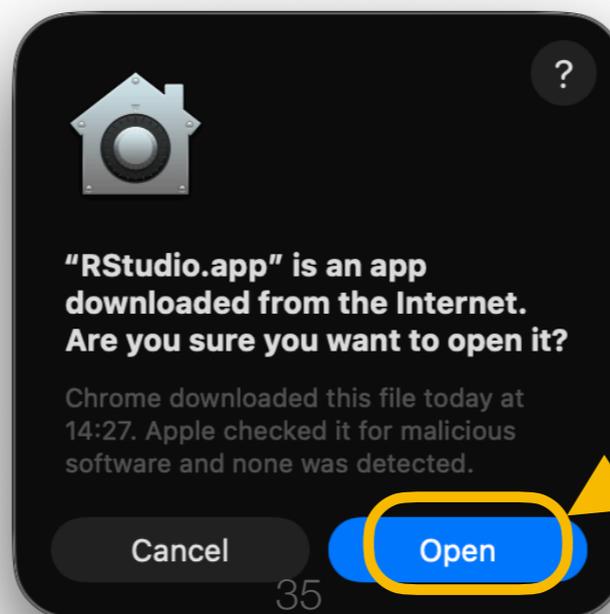
- ダウンロードしたファイルを開く
- ファインダで下のような画面が開くので、RStudio.app を Applications フォルダにドラッグ&ドロップす
  - ▶ ドラッグ&ドロップ: <https://support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/mh35852/mac>



RStudio.app を  
Applications の中に  
移動する

# RStudio のインストール (3)

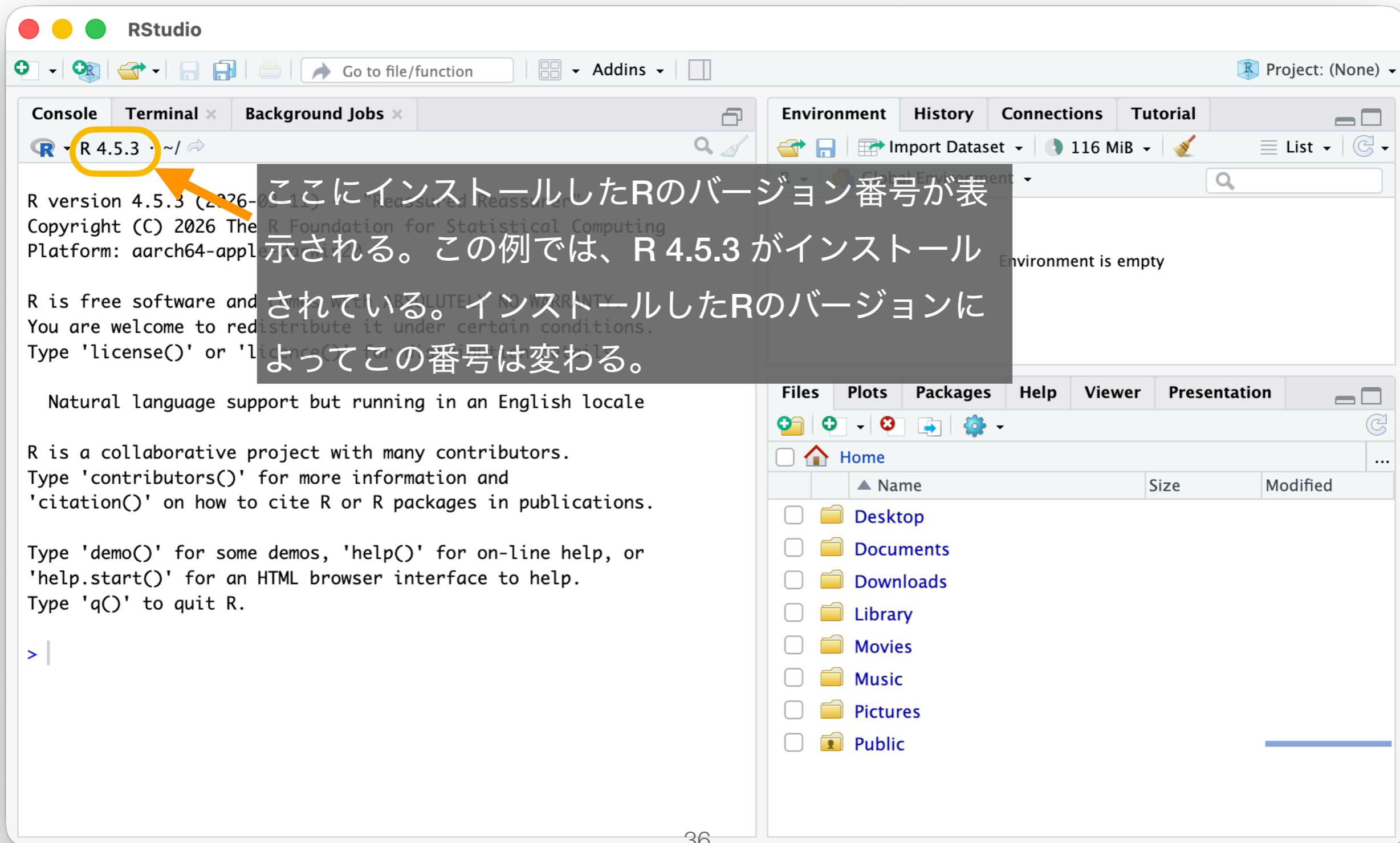
- 移動が完了したら、開いているファインダを閉じる
- 新たにファインダを開き、Application フォルダを開く
- フォルダ内のRStudio.app を副クリック(右クリック)し、ポップアップした画面で開く (Open) をクリックする
  - ▶ Macで右クリック: <https://support.apple.com/ja-jp/HT207700>
- すると、下の図のような画面が出るので、[Open] を選んで開く
- 次回からは通常のアプリと同じように、RStudio.app をクリックすれば開ける



クリック

# RStudio のインストール (4)

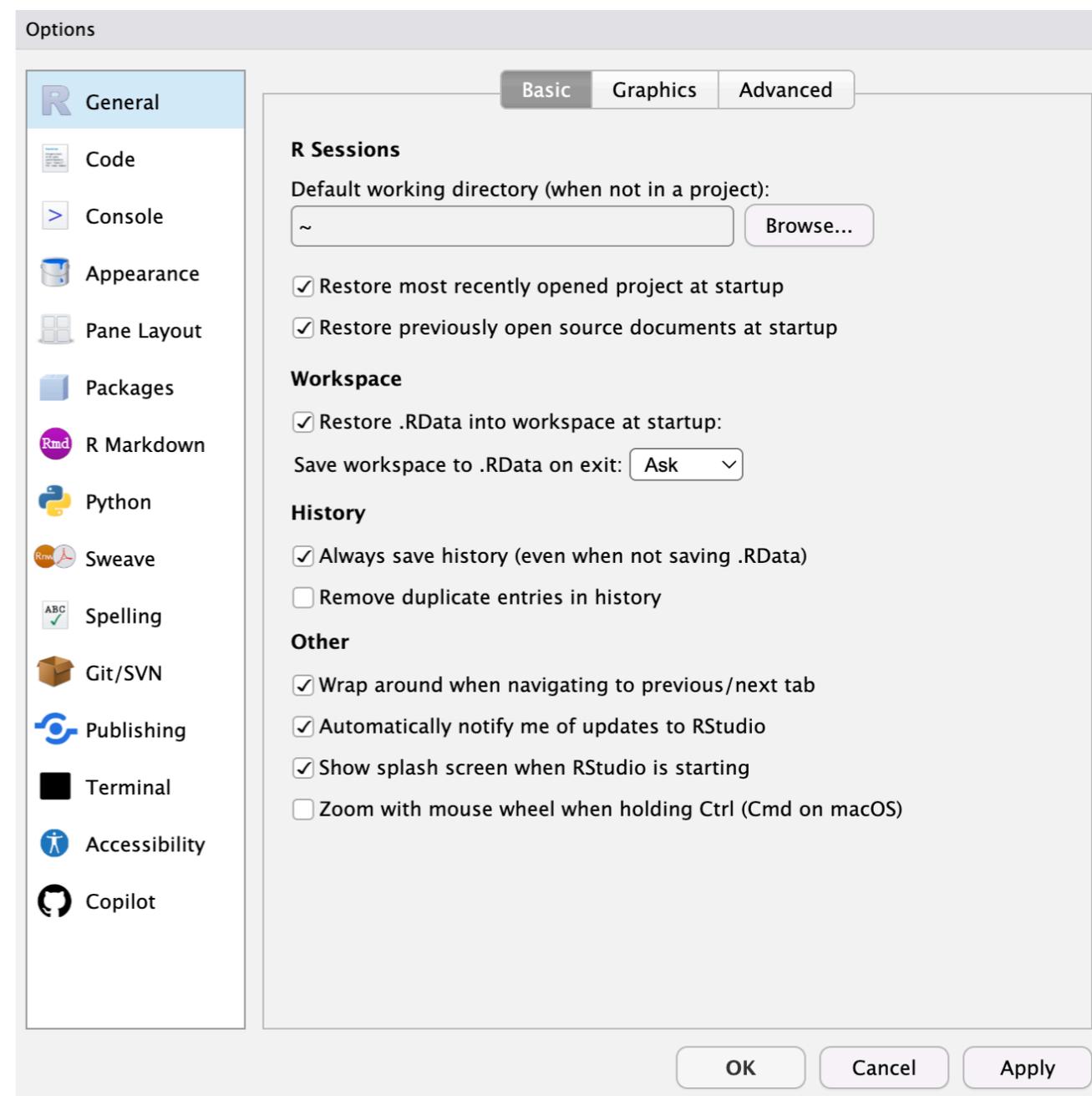
- 下のような画面が表示されればインストール成功！



# RStudioのカスタマイズ

# RStudio の設定を変える

- RStudio を開く
- メニューバー(画面上部)で、“Tools” → “Global Options” を選択する
- すると、右のような画面が表示されるので、この画面で設定を変更する
  - ▶ 次のページ以降で設定すべき内容を説明する
  - ▶ 必要な部分のみ指示するので、その他については好みに応じて変えてよい



- 私の授業を受けないならすべて好みの設定でいいです

# General: Basic の設定

The screenshot shows the RStudio Options dialog box with the 'General' category selected in the left sidebar and the 'Basic' sub-tab active. The settings are as follows:

- R Sessions**
  - Default working directory (when not in a project): ~
  - Restore most recently opened project at startup
  - Restore previously open source documents at startup
- Workspace**
  - Restore .RData into workspace at startup:
  - Save workspace to .RData on exit: Never
- History**
  - Always save history (even when not saving .RData)
  - Remove duplicate entries in history
- Other**
  - Wrap around when navigating to previous/next tab
  - Automatically notify me of updates to RStudio
  - Show splash screen when RStudio is starting
  - Zoom with mouse wheel when holding Ctrl (Cmd on macOS)

チェックを消す

Never を選ぶ

チェックを消す

# Code: Editing の設定

Options

Editing Display Formatting Saving Completion Diagnostic

**Editing**

- Insert spaces for Tab  
Tab width: 2
- Auto-detect code indentation
- Insert matching parens/quotes
- Use native pipe operator, |> (requires R 4.1+)
- Auto-indent code after paste
- Vertically align arguments in auto-indent
- Continue comment when inserting new line
- Allow drag and drop of text
- Enable hyperlink highlighting in editor

Editor scroll speed sensitivity: 100

Surround selection on text insertion: Quotes & Brackets

Keybindings: Default

**Execution**

- Focus console after executing from source
- Ctrl+Enter executes: Multi-line R statement

**Snippets**

- Enable code snippets

チェックを付ける

2または4に(好みで決める)

チェックを付ける

“Multi-line R statement” にする

# Code: Display の設定

Options

Editing Display Formatting Saving Completion Diagnostics

**General**

- Highlight selected word
- Highlight selected line
- Show line numbers
- Relative line numbers
- Show margin  
Margin column: 80
- Soft-wrap source files
- Soft-wrap at margin column
- Clamp editor width to margin column
- Show whitespace characters
- Blinking cursor
- Allow scroll past end of document

Fold style: Start and End

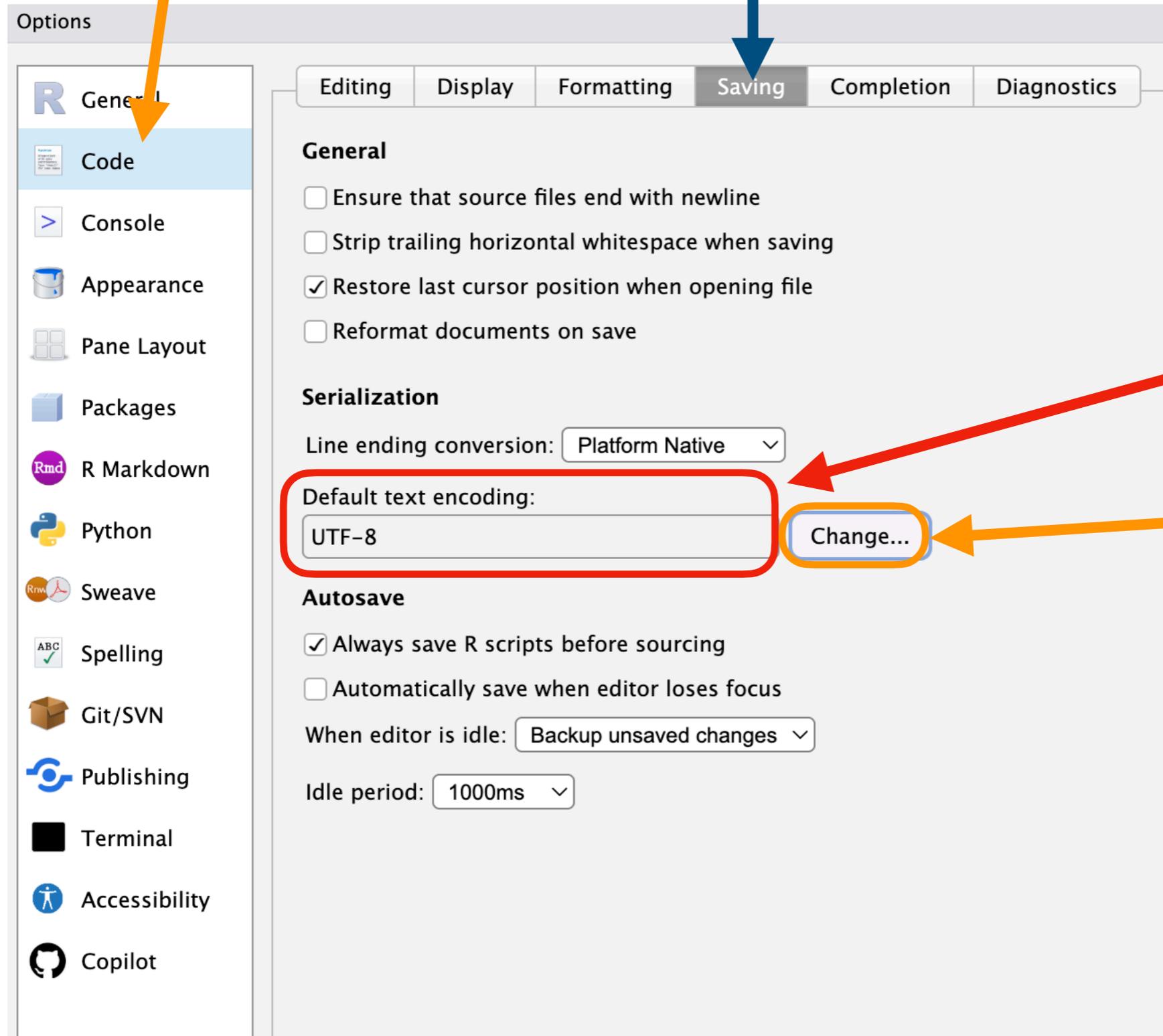
Indentation guides: None

**Syntax**

- Highlight R function calls
- Enable preview of named and hexadecimal colors
- Use rainbow parentheses

チェックを付ける

# Code: Saving の設定



[Change...] を  
クリックして  
“UTF-8” を選ぶ

# Code: Completion の設定

The screenshot shows the Visual Studio Code Options dialog with the 'Code' category selected. The 'Completion' tab is active, showing settings for 'R and C/C++' and 'Other Languages'. The 'Show code completions' dropdown is set to 'Automatically'. Several checkboxes are checked and highlighted with red boxes: 'Allow automatic completions in console', 'Insert parentheses after function completions', 'Show help tooltip after function completions', 'Insert spaces around equals for argument completions', and 'Use tab for autocompletions'. The 'Completion Delay' section shows 'Show completions after characters entered' set to 3 and 'Show completions after keyboard idle (ms)' set to 250.

Options

Editing | Display | Formatting | Saving | **Completion** | Diagnostics

**R and C/C++**

Show code completions:

Allow automatic completions in console

Insert parentheses after function completions

Show help tooltip after function completions

Show help tooltip on cursor idle

Insert spaces around equals for argument completions

Use tab for autocompletions

Use tab for multiline autocompletions

Show data preview in autocompletion help popup

Include all function arguments in completion list

**Other Languages**

Show code completions:

*Keyword and text-based completions are supported for several other languages including JavaScript, HTML, CSS, Python, and SQL.*

**Completion Delay**

Show completions after characters entered:

Show completions after keyboard idle (ms):

“Automatically”  
を選ぶ

チェックを付ける

# Appearance の設定

Options

General  
Code  
Console  
Appearance  
Pane Layout  
Packages  
R Markdown  
Python  
Sweave  
Spelling  
Git/SVN  
Publishing  
Terminal  
Accessibility  
Copilot

RStudio theme: Modern

Zoom: 100%

Text rendering: (Default)

Editor font: Monaco

Editor font size: 12

Line height (%): 145

Help font size: 11

Editor theme:  
Pastel On Dark  
Solarized Dark  
Solarized Light  
SQL Server  
Textmate (default)  
Tomorrow  
Tomorrow Night  
Tomorrow Night 80s  
Tomorrow Night Blue  
Tomorrow Night Bright  
Twilight  
Vibrant Ink  
Xcode

```
# compute five-number summary  
fivenum <- function(x) {  
  
  # handle empty input  
  n <- length(x)  
  if (n == 0)  
    return(rep.int(NA, 5))  
  
  # compute quartile indices  
  n5 <- 1  
  n4 <- ((n + 3) %% 2) / 2  
  n3 <- (n + 1) / 2  
  n2 <- n + 1 - n4  
  n1 <- n  
  i <- c(n5, n4, n3, n2, n1)  
  
  # compute quartile values  
  x <- sort(x)  
  xf <- x[floor(i)]  
  xc <- x[ceiling(i)]  
  0.5 * (xf + xc)  
}
```

とりあえず  
“Osaka-Mono”  
を選ぶ

等幅かつ日本語対応のフォントが必要。私は Ricty を使っているが、別途インストールが必要。インストールの方法は、<https://qiita.com/segur/items/50ae2697212a7bdb7c7f> を参照

自分が読みやすい  
サイズにする

自分が見やすい  
テーマを選ぶ

# 設定を適用する

Options

Choose the layout of the panels in RStudio by selecting from the controls in each panel. Add up to three additional Source Columns to the left side of the layout. When a column is removed, all saved files within the column are closed and any unsaved files are moved to the main Source Pane.

+ Add Column | - Remove Column

Source Console

TabSet Environment, Files, P

Files Plots Connections Packages Help Build VCS Tutorial Viewer

Files Plots Connections Packages Help Build VCS Tutorial Viewer

Environment History Files Plots Connections Packages Help Build VCS Tutorial Viewer Presentations

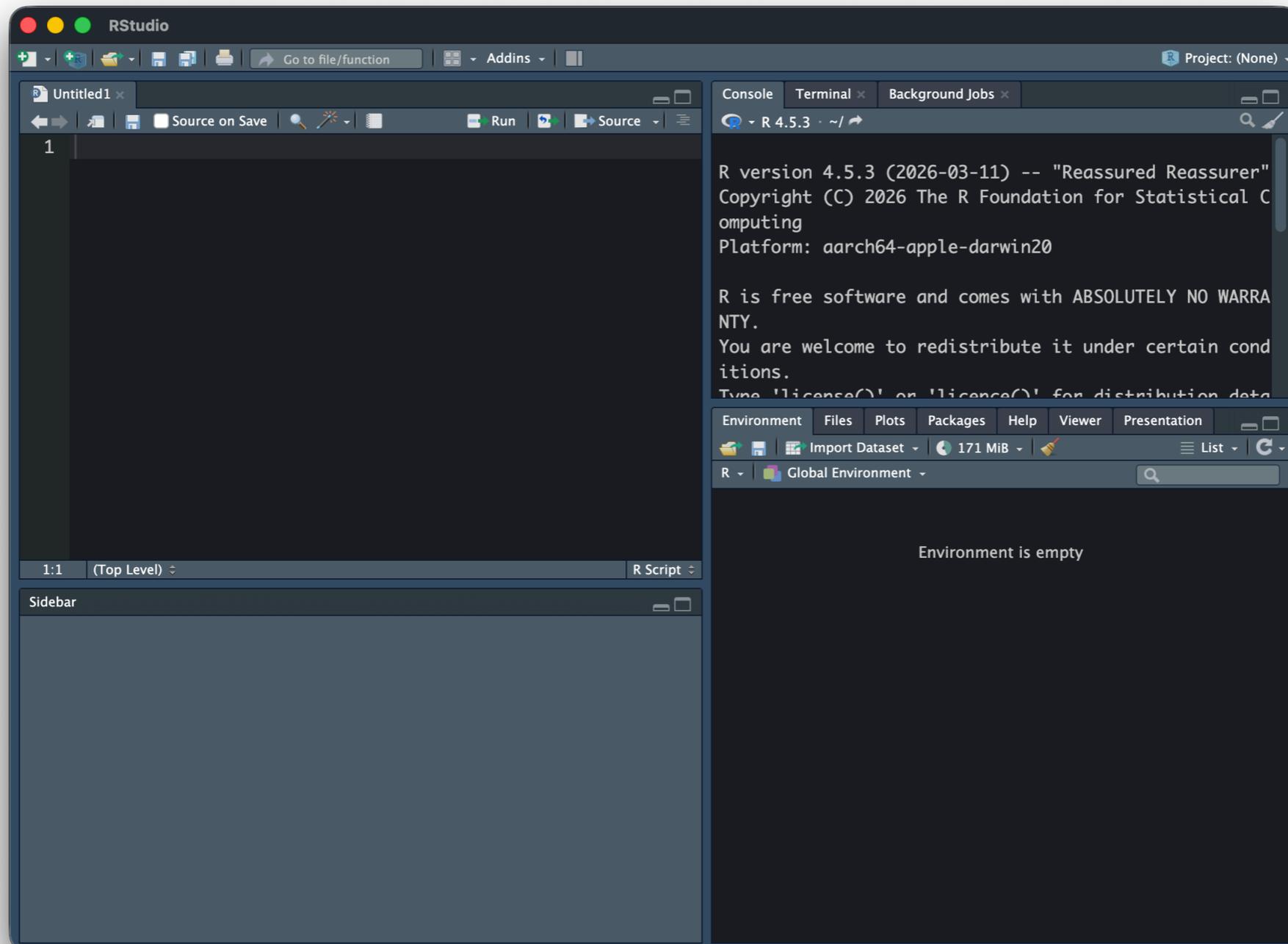
Restore Default Layout

OK Cancel Apply

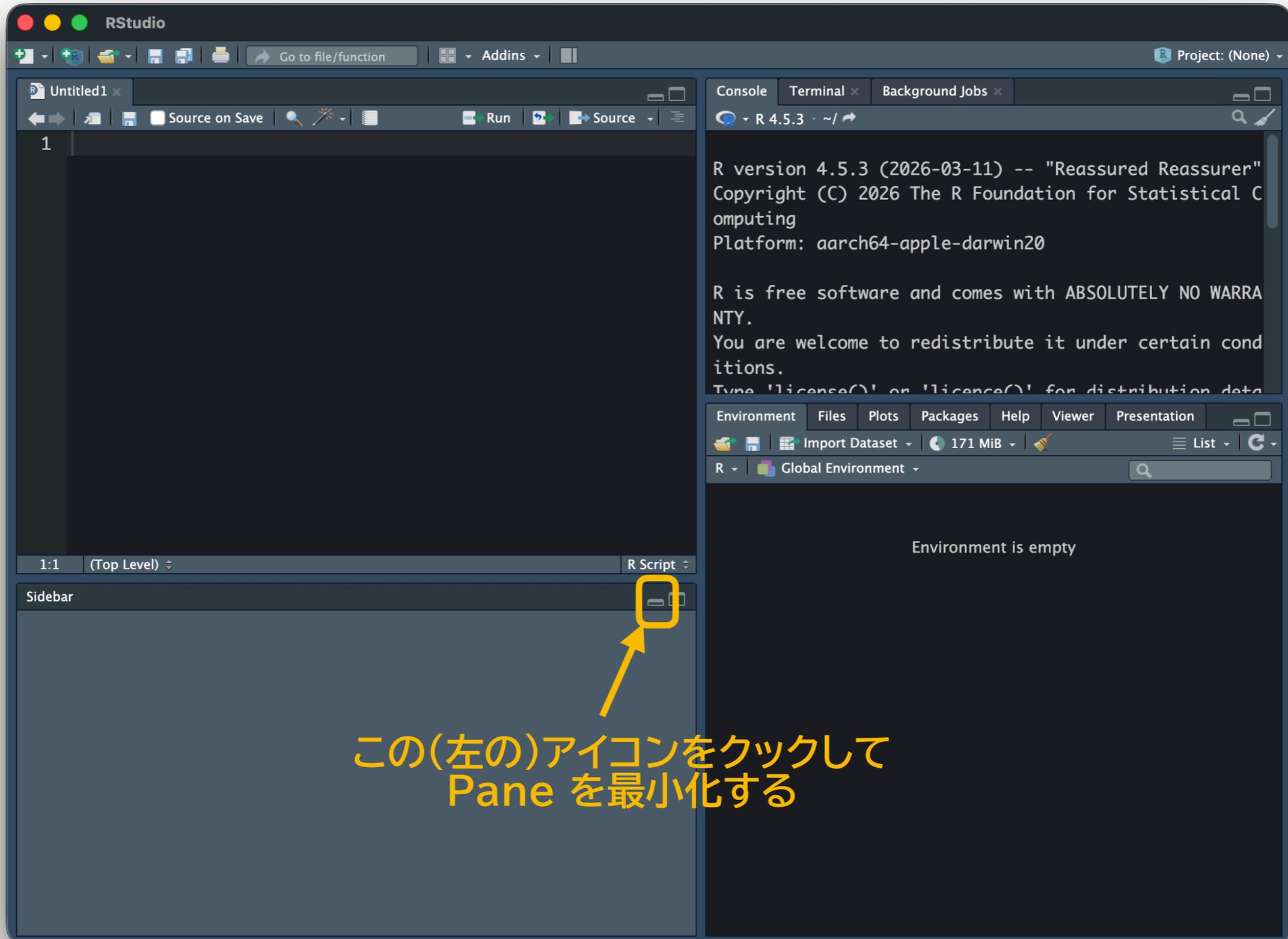
1. [Apply] をクリックする

2. [Apply] をクリックした後、[OK] をクリックする

- 以下のような画面が表示されるはず(選んだテーマによって色は異なる)
- メニューバーで、“File” → “New File” → “R Script” を選択する
  - ▶ ショートカット: Cmd + Shift + N



- 左下の Side Bar は使わないので、最小化する



- すると、以下のような表示に変わるはず

The screenshot shows the RStudio interface with the following components:

- Source Editor:** Contains R code:

```
1 r <- 2.22
2 S <- pi * r^2
3 S
4
```
- Console:** Shows the execution of the code:

```
R 4.5.3 ~/  
Type 'demo()' for some demos, 'help()' for on-line help, or  
'help.start()' for an HTML browser interface to help,  
Type 'q()' to quit  
R >  
r <- 2.22  
> S <- pi * r^2  
> S  
[1] 15.48303
```
- Environment Pane:** Shows the values of variables:

Variable	Value
r	2.22
S	15.4830252339519

Annotations in the image:

- A yellow arrow points from the code in the source editor to the console, with the text: **Ctrl + Return (Cmd + Return) で命令が Console に送られ、実行される**
- A black box with white text points to the console output, stating: **このPane (Console) でRのコマンドが実行され、結果が表示される**
- White text in the bottom left of the source editor pane says: **このPane にRのコマンド(命令)を書く**
- White text in the bottom right of the environment pane says: **この Pane には複数のタブがあり、データや図などが表示される。詳しい話は授業で**

これでRとRStudioの  
インストールは終了です

お疲れ様でした



**Congratulations!**

Quantitative Methods in Political Science

# Rによる 計量

# 政治学

統計学で政治現象を  
分析する

共著  
浅野正彦 Masahiko Asano  
矢内勇生 Yuki Yanai



OHM  
Ohmsha

<https://github.com/yukiyanai/quant-methods-R>